

Tableau のインターフェイス

「Tableau のインターフェイス」についてのトレーニングによるこそ。

付属の練習ワークブックをダウンロードして、実際に Tableau を操作してみてください。

いま表示されているのはシートです。シートは、ビジュアライゼーションを作成する場所です。スクリーンのいろいろなエリアを確認してみましょう。

メニューとツールバー

一番上に、メニューがあります。Mac ではレイアウトが少し異なる場合があります。メニューには強力なオプションが多数あります。1 つずつクリックして、どんなオプションがあるか確認してみるといいでしょう。

メニューの下にあるのがツールバーで、保存や元に戻すなどのボタンがあります。Tableau に自動保存の機能はないため、作業は必ず定期的に保存してください。ツールバーに表示される大半のボタンの状態は、シートの状態と連動しています。たとえばここで、シートのクリアボタンは使用できませんが、これはシートに何もいないためです。シートにデータがあれば、シートのクリアボタンは使用可能になります。そして、ドロップダウンをクリックすると、クリアする要素を指定するためのオプションが表示されます。

ここにあるロゴボタンを押すとスタート画面に戻り、保存されているデータソース、最近開いたワークブック、常に表示しているワークブックなどを開くことができます。

[データ] ペイン

画面の左側は [データ] ペインです。[データ] タブの上部には開かれているデータ接続がすべて表示され、データソースを選択すると、そのデータベースのフィールドがディメンションとメジャーに分かれて表示されます。セットやパラメーターがあれば、それも [データ] ペインに表示されます。

- マップレイヤーや書式設定ペインを開くと、一時的に [データ] ペインに重なって表示されます。下の [データ] ペインに戻るには、上に表示されているものを閉じてください。
- [データ] ペインはこのように最小化したり、最大化したりすることができます。
- 一番下にあるのはステータスバーです。ここには、ビューに表示されているマークの数など、サマリー情報が表示されます。

[アナリティクス] ペイン

[アナリティクス] タブをクリックすると、分析の機能が表示され、直接ドラッグ & ドロップできます。たとえばタイムライン上の合計など、ビューのタイプに応じて、使えない機能はグレイアウトされます。

傾向線などを選択する場合は、それを任意のドロップエリアに追加して、モデルタイプや適用すべきメジャーなどのプロパティの各要素を制御できます。

シートタブ

新しいシートのタブは、ウィンドウの下にあります。これらのタブで、シート、ダッシュボード、ストーリーを作成することができます。他にも、シートの名前の変更、シートの複製、書式設定のコピーなど、多くの操作ができます。ワークブックのシート数が多くても、右下隅のコントロールを使えば簡単に移動できます。

シェルフとカード

次は、おそらく一番重要な「シェルフ」について説明します。ビューを構築するには、[データ] ペインからフィールドをドラッグし、直接キャンバスまたはシェルフにドロップします。

シェルフは、カードと呼ばれることもあります。

- シェルフの種類には、上にある [列] シェルフと [行] シェルフ、
- [ページ] シェルフ、
- [フィルター] シェルフ、
- [マーク] カードなどがあります。

使用するフィールド名を、[列] や [行] のシェルフに直接入力することもできます。

[マーク] カード

[マーク] カードは、複数のシェルフで構成されています。各シェルフにはフィールドを配置でき、クリックすると設定を編集できます。

- マークタイプを変更すると、[マーク] カード上のシェルフも変わることがあります。たとえば、[形状] を選択すると [形状] シェルフが表示されます。
- ビューの構成によっては、[マーク] カードが各メジャーに 1 つ入り、複数になることもあります。

凡例

色、サイズ、形状などの凡例は、[色]、[サイズ]、[形状] のシェルフにフィールドを置いたとき、自動的に生成されます。メニューをクリックして [カードの非表示] を選択すると、凡例を削除できます。凡例を再び表示するには、キャンバス以外の場所を右クリックし、[凡例] から表示したいものを選択します。

ダッシュボードとストーリーのレイアウト

単純なシートではなくダッシュボードまたはストーリーを表示している場合は、レイアウトが少し異なります。まず左側には、[データ] ペインの代わりに [ダッシュボード] ペインが表示されています。

- メインエリアには使用できるシートの全一覧が表示されます。
- ダッシュボードオブジェクトも表示され、例えばイメージやテキストボックス、
- サイズ設定オプションなどがあります。
- また、[デバイスのプレビュー] では、モバイルデバイス用にダッシュボードをデザインすることができます。

まとめ

Tableau インターフェイスのトレーニングをご視聴いただき、ありがとうございました。引き続き、Tableau Desktop の使用方法の無料トレーニングビデオをご覧ください。